

地域に根差して…みらい工房赤井町エリア

今年の夏は例年にも増して暑さが厳しく一歩外に出れば一瞬で汗が噴き出すほどの気候でした。九月に入っても猛暑日が続くなど段々と季節の境目がなくなってきたのではないかと思います。

みらい工房においては令和八年四月に多部田町への移転があるため、現在工事が行われており、建物も少しずつ出来てきて着々と準備が進められています。

職員間におきましても、開所後のイメージを膨らませつつ利用者様の選定や作業活動などの会議を開き議論を重ねています。今回は赤井町エリアの特集ということで、私が勤めているエリアを簡単にご紹介したいと思います。

赤井町エリアはみらい工房『だいち』『おおぞら』から成り、提供サービスはだいち生活介護定員二十名と、たんぼぼルーム放課後等デイサービス定員十名、みらい工房おおぞら生活介護定員二十名です。契約者数は三つの事業で合計八十名近くになるため送迎はだいち、おおぞら合同で実施し毎日十便ほど車を出しています。大所帯で職員も多いため、朝の引継ぎでは利用者様の状況の申し送りや、対応方法についても全職員が対応できるように共有を図っています。

福祉事業を行うにあたり地域との関わりはとても重要です。赤井町エリアでは近隣の高齢者施設やコンビニエンスストアに空き缶やペットボトルの回収に伺っています。毎週行っているため顔見知りになり声を掛けてくださったり、回収活動を通じてみらい工房を知ってくださる良い機会であると思っています。共生社会の実現には地域の方々の方々の理解を深め、支え合うことで利用者様も能力や役割を発揮できる場が広がっていくと感じています。みらい工房の法人理念である「地域と共にみんなの未来を創造する」を具体化するには、些細なことではあります。回収等のこうした地道な積み重ねが必要ではないでしょうか？その中で職員一人ひとりが地域の中で何が出来るか考えながら利用者様と一緒に成長していくことができたと思います。

来年度は多部田町の移転をはじめ、法人が大きく変わる年です。みらい工房は設立十四年で事業規模も拡大し、千葉県内でもかなり注目されている法人となっています。

利用者様本位のサービス、笑顔溢れる関わり、メリハリのある作業活動、安心・安全で過ごすことが出来る環境など皆さまのご期待に応えられるように、職員一丸となって邁進いたしますので今後ともご支援の程、よろしくお願致します。

みらい工房おおぞら 管理者・課長 元木一貴

所在地:千葉県千葉市中央区赤井町25番地1
TEL:043-312-0710

放課後等デイサービス事業 定員/10名

- ・みらい工房ひまわり
- ▶ みらい工房たんぼぼルーム
- ・みらい工房たんぼぼルームそが



こんにちは、たんぼぼルームです。たんぼぼルームでは、現在22名の小学2年生から高校3年生までの児童が利用されています。市原・桜が丘・袖ヶ浦特別支援学校3校の生徒の皆様が対象です。3校へ送迎車でお迎えし、たんぼぼルーム利用後はご自宅までお送りしています。活動では、ピアノを使った音楽活動、個別で行う制作活動、散歩や風船、ダンス等を行う運動活動の3つをメインに活動を行っており、時折、児童に人気のダーツや射的、ボーリングなどを行い盛り上がりしております。活動とは別に外部の講師を招きだいちの成人と時間を分け1時間のヨガも取り入れております。一般的にイメージされるようなヨガではなく、車椅子乗車のまま体を伸ばすストレッチをメインに行い、児童の皆様も大盛り上がりで毎回楽しく行っております。職員も関節が痛かったり、気になる場所があり、改善方法を伺いアドバイスをいただくこともしばしば。また、月1回必ずイベントを企画しており、土曜日や祝日を用いて、BBQや水族館、動物園、ハンバーガー作り等、たんぼぼルーム職員のモットーである「職員が楽しまないと利用者さんも楽しめない」を掲げており、職員の意識も上げていきながら支援を行っております。Instagram・フェイスブックにも投稿がございますので是非見て頂けると嬉しいです。たんぼぼルームでは、室内が少し狭い分職員と利用者様の距離感が近くなり仲良く楽しい雰囲気になっています。いつかは皆さま、卒業をされますが、たんぼぼルームで何かを学び取り卒業をして欲しいと思います。

みらい工房たんぼぼルーム 保育士 山田諄哉



みらい工房だいち

生活介護事業 定員／20名

所在地：千葉県千葉市中央区赤井町25番地1
TEL：043-312-0710

- ・みらい工房
- ▶ みらい工房だいち
- ・みらい工房おおぞら
- ・みらい工房つむぎ



みらい工房だいちでの日々の活動をご紹介します。だいちには、身体機能にハンディキャップがある方も多く通われています。そのため、みんなで一斉に同じことをするのではなく、一人ひとりの特性やペースに合わせて取り組めるよう工夫し、短い時間でも達成感や充実感を感じていただけるよう心がけています。活動の中心は、ペットボトルや缶を使ったりサイクル作業です。ペットボトルのラベルをはがしたり、ボトルを袋に詰めたり、近隣のスーパーへ納品に出かけたりと、それぞれが自分に合った形で参加しています。ラベルをはが一つをとっても、職員の声かけだけでできる方、切れ込みを入れるとスムーズに取り組める方、職員と一緒に手を添えながら行う方など、その方に合わせた方法でサポートをしています。また、運動不足を防いだり歩く力を保ったりするために、ウォーキングも大切にしています。天気の良い日には屋外を歩き、季節の風を感じながら気持ちよく取り組んでいます。車いすをご利用の方も外気浴を楽しみ、穏やかなひとときを過ごされています。さらに、キャップの色分けやねじ回し、ペグ差しといった課題にも取り組み、手先の動きを維持する時間も大切にしています。余暇活動では、ポッチャ大会で盛り上がったたり、月に一度ヨガの先生をお招きして体をほぐしたりと、笑顔あふれる時間がたくさんあります。みらい工房だいちは、法人内の事業所の中でも比較的穏やかな活動が中心ですが、その分、一日一日を大切にしながら、ご利用者が安心して、自分らしくゆったりと過ごせる場所となっています。

主任 若菜康太郎

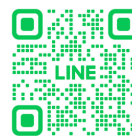


みらい工房おおぞら

生活介護事業 定員／20名

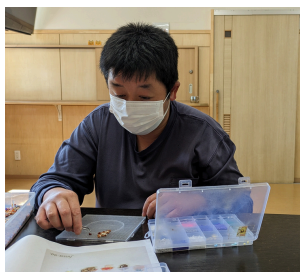
所在地：千葉県千葉市中央区赤井町20番地1
TEL：043-312-6610

- ・みらい工房
- ・みらい工房だいち
- ▶ みらい工房おおぞら
- ・みらい工房つむぎ



みらい工房おおぞらは、元気いっぱいの若い利用者様が多く通われている事業所です。日中活動は畑作業やアイロンビーズ作業を中心に、さまざまな活動に取り組んでいます。今年の夏は猛暑が続きましたが、夏野菜を立派に育てるために毎日がんばって畑作業に取り組みました。その結果、しっかりと収穫することができ、多くの方々に販売することができました。猛暑の影響で収穫時期は短く、1ヶ月ほどで終わってしまいましたが、これからは秋・冬野菜の準備や草取りなど、まだまだやることはたくさんあります。利用者様の明るさと元気を力に、職員も一緒にがんばっています。アイロンビーズ作業は、職員が行うのは図案作成とアイロンがけだけで、作る・組み立てる作業はすべて利用者様が担当しています。実は職員よりも早くて丁寧に仕上げてくださる方ばかりで、驚かされることもしばしばです。その他にも、リサイクル作業や地域清掃、花壇整備、事業所周辺の草取りなどの活動も行っており、これらは日替わりで提供しています。おおぞらの特徴のひとつに「班を決めないスタイル」があり、活動ごとにその日参加したい内容を利用者様自身に選んでいただいています。そうすることで、飽きずに意欲的に取り組んでいただいています。また、余暇活動にも力を入れており、世界にひとつだけのオリジナルTシャツを作ったり、夏には夏祭りやバーベキュー、流しそめんなど季節のイベントを楽しんだり、活動も遊びも全力です。ちなみに、これからハロウィンパーティーも予定しているので、ハロウィンの様子はInstagramの投稿をお待ちください！職員が全力で仮装します！野菜やアイロンビーズの作品は、公式LINEにて販売しておりますので、ぜひこの機会にご登録・ご購入をお待ちしています。

みらい工房主任 秋元康明



職員バレーボール部

こんにちは、みらい工房バレーボール部です。令和7年9月6日(土)に千葉県知的障害者福祉協会主催の第30回千葉地区施設職員交流バレーボール大会千葉地区予選が開催されました。協会に加盟する施設同士がバレーボールを真剣に、正々堂々と戦うと共に、職員同士の交流を持つ趣旨のもと行われる本予選会には、当法人も毎年参加しています。今年は全8法人が参加されました。予選会…ということは、さらにその上の県大会があるのです。予選会上位4チームが県大会に出場できる権利が与えられるということで、選手もそうでない職員も一丸となり、業務後の練習を張り切って行っておりました。やる気満々で挑んだ予選会ですが、当法人のブロックには、毎年優勝している強豪チーム社会福祉法人佑啓会様と上位常連の社会福祉法人九曜会様が！ただし、毎年優勝している佑啓会様と同ブロックの法人は一勝すれば県大会出場ができるというルールがございます。ここを決めれば県大会出場という大事な一回戦は、白熱の末、見事2セットを先取り勝利を収めることができました！続く2回戦は佑啓会様に2セットをとられボロ負けでした…(笑)とはいえ先の一勝により無事県大会進出を決め、令和8年1月15日(木)に千葉ポートアリーナ全面という大舞台で行われる県大会へ出場の運びとなりました。当日まではまた、練習あるのみ！『やるからには勝つ』をモットーに、そして福祉業界を盛り上げられるようにこれからも頑張ります！

みらい工房バレーボール部キャプテン 宮下佑士郎



職員野球部

みらい工房野球部は、昨年度に引き続き、社会福祉法人千葉市手をつなぐ育成会様、社会福祉法人りべるたす様と合同チームを結成し、千葉県知的障害者福祉協会主催「第8回施設職員交流野球大会」に出場しました。6月19日(木)の予選会では、初戦で昨年度の決勝トーナメント初戦で惜敗した社会福祉法人心聖会様と対戦。序盤から互いに譲らぬ攻防が続きましたが、6回に逆転され、6対7で惜敗しました。続く社会福祉法人みづき会様との試合も総力戦の末に惜しくも敗れ、予選は2敗。7月27日(火)開催の「福利厚生トーナメント」に進むこととなりました。迎えた当日は成田市で最高気温35℃の猛暑。照りつける日差しの中、初戦は社会福祉法人野栄福祉会連合様と対戦しました。白熱の展開で延長戦に突入し、それでも決着がつかず、出場者9名によるじゃんけん対決へ。見事勝利し、今大会初白星を挙げました。続く試合では、序盤からのピンチを粘り強くしのぎ、打線が奮起。6回コールドで勝利し、チーム結成以来初の大会2勝を達成しました。結果、福利厚生賞を受賞し、賞状と景品が授与されました。結成から約3年。大会を重ねるたびにチーム力の向上を実感しています。これもひとえに、法人内外の皆様の温かいご支援とご協力のおかげです。大会後は、昨年10月にオープンした「はーとやのパン」直営店Lampにて懇親会を開催。試合の振り返りや健闘を称え合いながら交流を深め、笑顔と拍手に包まれた有意義なひとときとなりました。

みらい工房野球部主将 吉野健人

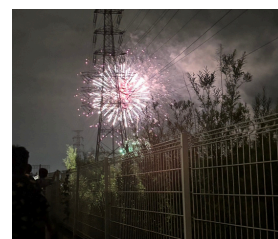


生実町花火大会・誉田町夏祭り

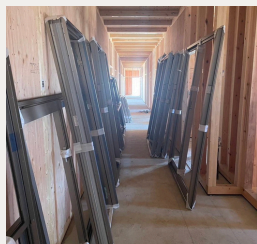
今回は毎年開催される誉田町南公園の夏祭りに準備と当日運営で4日間参加させていただきました。自身としては学生時代にお世話になった町内会、公園行事に貢献出来る機会をいただき、感慨深く、運営にやりがいを感じました。また、当日はみらい工房の利用者様も遊びに来られ射的や盆踊りを笑顔でされている姿を見る事が出来とても嬉しく思いました。また機会がありましたら是非、参加させていただきたいと思います。誉田町町内会、また地域住民の皆さまありがとうございました。

みらい工房つむぎ 生活支援員 安氏成斗

今年も生実町花火大会にみらい工房として協賛させていただきましたので、みらい工房おおぞらの駐車場を開放し、毎年恒例の花火大会観覧を実施いたしました。当日は、非常に暑い中ではありましたが、職員はもちろん職員の家族や友人の方々、また普段サードスペースみらいにてボランティアとして活動いただいている淑徳大学の学生ボランティアの皆さんにご参加頂き、総勢56名が集まりました。お子様たちも楽しめる流しそうめんやミニ縁日をご用意し、BBQで互いに労をねぎらいながら花火を鑑賞しました。



法人本部設置予定地、千葉市若葉区多部田町の生活介護棟及びグループホーム棟の建築状況ですが、工事は順調に進み広大な敷地を有効活用した廊下や居室配置と、建物全体像が見えてきました。完成に向けて着実に進んでおります。入居・利用者の皆様に安心して頂ける住まい、活動の場となるよう引き続き取り組んでまいります。



みらい工房グループホーム（南生実町・矢作町・生実町・辰巳台）において、地域連携推進会議を開催しました。この会議は、障がいのある方々が地域の中で安心して生活ができるように、地域住民・関係機関・保護者・利用者など、さまざまな立場の方々と意見交換を行いながら、より良い支援体制の構築を目指すことを目的とし、令和7年度より開催が義務化されています。当法人では地域との共生や支援の質の向上を図る大切な機会と位置づけています。なお、会議内容等は、ホームページに掲載していますので右のQRコードから是非ご確認くださいませ。

グループホーム千葉・市原エリア施設長／部長 渡邊慎太郎



共同生活援助事業 定員／男性4名・女性4名

所在地：沖縄県浦添市港川（以下省略）
TEL：098-988-6536

- ・みらい工房辰巳台ホーム
- ・みらい工房南生実町ホーム
- ・みらい工房矢作町ホーム
- ・みらい工房生実町ホーム

▶ グループホームみなとがWa



“あなたをまん中におおきなWa”という事業所スローガンを掲げ、昨年4月に開設したおおきなWaですが、生活介護事業所に続く2号店は、共同生活援助事業所“グループホームみなとがWa”です。浦添市港川にて、令和7年10月1日に沖縄県の指定を受けることができました。偶然にも末尾が“わ”の住所地に、二世帯中古物件との素敵なお縁をいただき、約半年をかけて室内の改修、消防設備工事、県の認可取得に向けて進めて参りました。グループホームみなとがWaは閑静な住宅街にあり、畑や介護施設駐車場と隣接している為、陽もよく入り密集・閉塞感のない環境です。入居者の障害特性による、周囲への影響をご心配されている保護者様からは『この環境なら安心』とのお声を頂戴しております。男女それぞれ4名定員で、各棟に同性世話人を配置し、空床型短期入所も併設しておりますので、本入居前のサービス調整期間にお試し利用なさる方もいらっしゃいます。おおきなWaご利用の方を対象としたグループホームの強みである、支援者の連携体制をしっかりと整え、24時間365日、日中活動・暮らしと健康・余暇、と3本の柱で重度の障害がある方が地域で安心して、ご自分らしく豊かな生活を送れるよう精一杯お手伝いさせていただきます。最後になりましたが、みなとがWa開設にあたりましては、行政・法人本部を初めとした関係機関の皆さま、グループホーム開設を楽しみにお待ちいただいた、おおきなWa利用者・ご家族の皆さまに多大なるご支援を賜りましたこと心より感謝申し上げます。そして新たにチームWaの一員に加わり、着々と入居者の受け入れ準備を進めている個性豊かな世話人さんのお縁をいただきました。チームワークも抜群です！20代～60代の世話人が入居者とともに創るグループホームみなとがWa。大きな家族の仲間りをしてくださる、次の入居者様とお会いできる日を心待ちにしております。

おおきなWa・グループホームみなとがWa 施設長／係長 呉屋翔太郎



お祭りや花火大会、職員のスポーツ交流大会に新設事業所のご紹介と目白押しの本号。肝心の花火はというと鉄塔の後ろから覗く形となり、多少の物足りなさ否めませんが、これも風情ということでこれからもみらい工房夏の風物詩として長く続いてくことでしょう。今年、参加できなかった職員も来年はぜひ、生実町花火大会に参加してみたいかでしょうか？福利厚生委員会を中心に当日準備をした職員や、暑期中BBQの焼き場を担当していた職員等々、恒例行事はみらい工房職員一同の想いにより作り上げられています。県大会出場を勝ち取ったバレーボール部、野球部の職員へ皆さまエールをお送りくださいませ！